

図書館員が選ぶ この一冊

55

『和菓子のアン』 光文社 坂木 司／著

アンちゃんこと梅木杏子はごく普通の18歳。進路が決まらないまま高校を卒業し、デパ地下の和菓子店「みつ屋」でアルバイトを始める。仕事に追われる中、和菓子に関する専門知識や情熱に溢れる個性豊かな同僚たちと一緒にお客様が持ち込む謎を解くことに。5話からなる本書はシリーズの1作目。



今まで推理小説に取り上げられなかった、デパ地下の和菓子屋を舞台にしたという著者。各話で題材となるそれぞれの和菓子を通して、購入する人物の気持ちや背景に迫る。一癖も二癖もある登場人物の面白さ、和菓子の由来や豆知識などがふんだんに詰まった美味しい物語である。